

双葉西小だより

令和元年 11月22日号 文責 学校長 中村 雅彦

西小まつりへのご参加、ありがとうございました！

11月14日(木)に開催した西小まつりは、保護者をはじめ、祖父母、地域の方々など、300名を超える多くの皆様方のご参加をいただく中で、盛大に開催することができました。子供たちは、各教科や総合的な学習を通して学んだことを学習の成果として発表するとともに、いつもお世話になっている方々へ「ありがとう」の気持ちが伝わるようにと、練習を重ねてきました。各学年の発表は何れも工夫が凝らされ、参観者へたくさんメッセージを届ける内容で構成され、とても素晴らしいものでした。「ふたすけお話隊えがわ」の皆さんには、昔話『ひょうたんめん』をスクリーンを通して紙芝居形式で上演していただき、会場が一気に昔話の世界に引き込まれていました。全校合唱で歌った「まっかな秋」は、参観していただいた保護者や祖父母、地域の皆様方との一体感が感じられ、「地域とともにある学校」の良さを強く実感した会となりました。ご参加いただいた皆様のご協力により、心温まる西小まつりになりました。教職員一同、心より感謝申し上げます。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

スポーツの秋

10月29日には6年生が山梨中銀スタジアムで実施された甲斐市陸上記録会に参加しました。小雨にもめげず女子走高跳の1位を含む12名とリレーの2チームが8位以内入賞という素晴らしい成果を収めました。参加を通して全員がひとまわり遅くなりました。11月14日にはヴァンフォールスポーツ教室が開催され、1、2年生が校庭全面を使ってサッカーに親しむことができました。



また、今年も体カづくりの一環として行っている「目指せ山梨チャンピオン」では、各学級とも新記録を目指してドッジボール投げや縄跳びに挑戦しています。冬も間近ですが、寒さに負けずに運動の習慣がこれからも続くことを期待しています。



進めています！小中学校の連携



昨年度から甲斐市教育委員会の研究指定を受けて「小中連携教育推進事業校」としての取組を続けております。「中1ギャップ」という言葉も使われはじめて久しいところですが、双葉地区で学ぶ西小、東小、双葉中の児童生徒の健全育成や学力向上を願っての取組です。小学校の子供たちは、中学生との交流を通し、普段の授業では得られない新鮮な体験をすることができています。6年生にとっては、間もなく進学する中学校がより身近に感じられていることでしょう。

これまでも三校の間では職員同士及び児童生徒の交流があったわけですが、改めてその良さに着目し、重点化して取り組むことといたしました。昨年度は学校の代表者が集まり基本計画をまとめ、今年度は各担当ごとに具体的な取組を展開しております。すっかりこの地域に定着した各学校の道徳の授業公開の取組や、双葉中学校の陸上部・野球部による6年生への陸上競技指導をはじめ、中学生の修学旅行記の小学校への展示や、吹奏楽部が来校しての演奏会、生徒会役員が来校してのあいさつ運動、教職員合同研修会の実施、学習の決まりや家庭学習のあり方・児童生徒についての情報共有など取組は様々ですが、一過性のものでなく、この地域にあった息の長い取組になるよう、工夫を凝らしているところです。目に見える成果として「日本一の下駄箱」を目指している中学校の取組を参考にし、「靴をそろえる＝心をそろえる」取組は、西小でもしっかりとできるようになってきました。

これらの成果は、年明けの1月23日（木）に双葉のふれあい文化ホールにおいて開催する成果発表会の際に、市内外の多くの先生方に、広くお知らせすることとなっております。



学校応援団や外部講師の活躍



10月後半から11月にかけて大勢の学校応援団や外部講師の皆様にご子どもたちの学習に関わっていただきました。定期的な環境整備や読み聞かせに加え、図工や家庭科、農業体験、福祉教育など幅広いジャンルでお世話になりました。すべて掲載できませんが、いつもありがとうございます。

